

地図を身近に（１） ー地図記号を覚えよう！ー

地図記号は地図上で地形・道路・施設・土地の様子を表すための記号です。
これを覚えておくと地図を見るだけで、行かなくても、その土地の様子を知ることができるとても便利なものです。
地図記号には由来があります。それを知ることによって楽しくおぼえることができます。



<裁判所> ^{さいばんしょ} この記号は、むかし裁判所が裁判の内容などを立て札（たてふだ）を立てて知らせていたことから、立て札の形を記号にしました。



<消防署> ^{しょうぼうしょ} この記号は、むかし、火を消す道具として使っていた「さすまた」の形を記号にしました。



<警察署> ^{けいさつしょ} この記号は、制服を着た警察の人がもっている警棒（むかしは六尺棒を交差させた形を記号にしたもので、交番の記号（×）と区別するために○でかこみました。



<郵便局> この記号は、むかし、郵便などをあつかう役所が通信省と呼ばれていたときのカタカナの「テ」を○でかこみました。

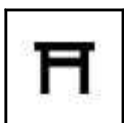


<小中学校> この記号は、漢字の「文」を記号にしました。
※ちなみに、小中学校以外の学校は次のように表します。

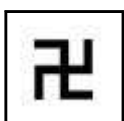
⊗ 高等学校 (大) 大学 (短大) 短大 (専) 専門学校



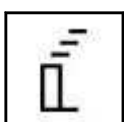
<病院> ^{ぐんたい えいせいたい} この記号は、昔の軍隊の衛生隊のしるしをもとに記号にしました。



<神社> この記号は、神社の参道入り口などに立っている鳥居の形を記号にしました。



<寺院> ^{じいん} この記号は、寺で見かける「卍」（まんじ）の形を記号にしました。



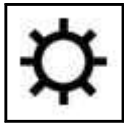
<煙突> ^{えんとつ} 煙突の記号は、とくに大きなものをあらわしています。
この記号は、煙突とその影、けむりを組み合わせ記号にしました。



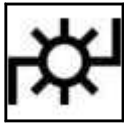
<博物館> ^{はくぶつかん びじゆつかん} この記号は、博物館や美術館などの建物の形のイメージを記号にしています。



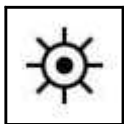
<図書館> この記号は、本を開いた形を記号にし、1/25000の地形図には平成14年度からつかわれています。



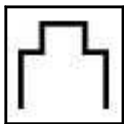
<工場> この記号は、工場で使われている機械の歯車の形を記号としました。



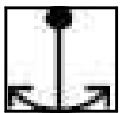
<発電所> この記号は、発電機を歯車と電気回路という形で記号にしました。



<灯台> この記号は、灯台（光源）を上から見た形と四方八方に光が出ている様子からできています。



<城跡> ^{しろあと}むかし城があったところで、現在も^{てんしゆかく}天守閣、^{やぐら}櫓、^{いしがき}石垣などがあるところをあらわします。この記号は、^{ちくじょう}築城工事を^{なわ}する時の縄ばりの形を記号にしています。



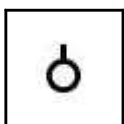
<漁港> 記号は、その港の範囲のほぼ中央位置に表示します。この記号は、船の^{いかり}碇の形を記号にしています。



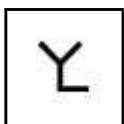
<田> 田の記号は、^{いね}稲、^{はす}蓮、い草、わさび、せりなどを栽培している水田をあらわしています。稲をかり取ったあとの形を記号にしました。



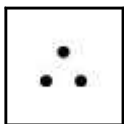
<畑> 植物の^{ふたば}二葉の形を記号にしました。



<果樹園> 果樹園の記号は、リンゴ、ミカン、なし、もも、くり、ぶどうなどを栽培している土地をあらわします。リンゴやなしなどの実を横から見た形を記号にしました。



<桑畑> ^{くわばたけ}桑畑の記号は、桑を栽培している土地をあらわしています。桑の木を横から見た形を記号にしました。



<茶畑> 茶畑の記号は、茶を栽培している土地をあらわします。茶の実を半分に切った時に見える形を記号にしました。



<荒地> ^{あらじ}荒地の記号は、雑草が生えている感じを記号にしました。